



INTERVIEW

福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

先輩職員インタビュー

「チーム医療の重要なピースとなって、

地域医療を支えよう！」

● 所属 南会津病院 薬剤部

● これまでの経歴(所属年度)

H30～ 南会津病院 薬剤部



薬学

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 南会津病院は、広大な南会津地域における唯一の基幹病院です。透析や化学療法など、様々な症状や病気に対応した治療を行うことができ、住民の方が安心して生活できるように支えています。

私は、この病院の薬剤師として、通常の調剤・指導を行うことはもちろんですが、患者の方々の個々の治療に合わせた、よりよい薬剤を提供できるよう、常に学び、情報共有しながら日々の業務に取り組んでいます。

また、個人では、医療安全のリスク委員や医薬品の採用等を検討する薬事委員会などの業務にも携わり、知見を深めています。

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 薬剤師として、薬のことに関しては信頼されていると感じるので、その信頼に恥じないように業務に取り組みたいと思っています。また、基本業務をどのような状況下においても粛々と行い、その時々求められる薬剤師像にも適応できるように、業務の改善をしていきたいと考えています。



↑ 調剤と監査。薬を一包化し、中身を一方一方確認します。



Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「ストップ」「温泉」「雪」「車」「地酒」「そば」

Q. 「ストップ」について教えてください。

A. “怒られる・煙たがれるのも覚悟”。医療の現場では、流れるように業務が行われるため、作業の途中でストップをかけることは嫌がられます。それでも疑問があればストップをかける義務があります。最小限のストップで、適切な医療に貢献する。そのための関係づくりを大切にしています。



↑病棟における配膳監査。毎日看護師とのダブルチェックを行います。

Q. 「温泉」について教えてください。

A. 少し足をのばせば温泉地が沢山あります。おいしい食事と広いお風呂でリフレッシュすることが楽しみです。お気に入りの宿を見つけて、将来は家族で来られたらと思います。

Q. 受験者に向けたメッセージをお願いします。

A. 規模が小さい県立の病院では、専門的に狭い分野を深めるというよりは、幅広い分野に柔軟に対応することが必要とされます。

さまざまなことを尋ねられるため、多くのコミュニケーションを通し、部門を超えて顔見知りとなり、信頼関係を気づくことができます。

大学の実習では経験できなかったことが“ココ”にはあると思います。興味があればぜひ一緒に働きましょう。



↑新型コロナウイルスのワクチン準備